

酒巻導水路の植栽について

☆経緯☆

- ・10月26日（木）の第5回推進協議会において、「植栽は花などがあつた方がよい」と提案がありました。また、行田市の花は「菊」と「蓮」であり、市の特色を出した方がよいとの意見が出ました。

☆加須農林から植栽についての提案☆

- ・下流側の植栽方法によらず、多様性を持たせます。（従来はコヒガンザクラのみ）
- ・維持管理が容易である花を植えます。
- ・行田市の花である「菊」を考慮します。

これらを踏まえて

県としては、【はまぎく】を提案します。

なぜ【はまぎく】なのか？

- ・【はまぎく】は、震災前後を絡めて、岩手県大槌町の花苗を皇居に献上したゆかりの花です。地元と協働して【はまぎく】を管理することによって、行田市と大槌町の接点を持ち、遠く離れた埼玉県でも「震災の記憶を忘れず、復興への願いを持ち続ける」、「人間の命の尊さを大切にする」ということをアピールできるのではないかと考えました。

※花言葉は「逆境に打ち勝つ」という意味を持っています。

酒巻導水路に咲いている【はまぎく】を見て勇気をもらえるのではないのでしょうか

☆維持管理及び導入時期☆

- ・地植えの場合は水やり、肥料等は基本的に不要です。
- ・病害虫に強く、寒さにも強い花です。
- ・導入時期は春ごろであり、秋に開花します。

維持管理が容易

※花については、地元の方と協力して植えたいと思っています。

